国は社会保障を人権として保障せず、「自助・共助」とし、憲法25条の「生存権」を無視した社会保障「改革」を押し進めています。また、財政難を口実として消費税率を10%以上に引き上げようとしています。

一連の「改革」によって、医療・障害・介護・保育・生活保護・年金などの諸制度が 次々と切り崩され、深刻な実態をつくり出しています。

本当に社会保障の基本は「自己責任」なのでしょうか?財源はないのでしょうか?いま、あらためて「社会保障・社会福祉とは何か」「社会保障財源のあり方」を問い直し、いのちとくらしを守る制度改善と関係予算の増額等を求める運動を、多くの国民の共同の力ですすめましょう

12/1(金)

12:30~ 15:00

事前申込み不要 入場無料

※12時から議員会館1階ロビーで通行証を配布します。

衆議院第2議員会館 多目的会議室

【最寄り駅】 国会議事堂前駅(地下鉄 丸ノ内線・千代田線) 永田町駅(地下鉄 有楽町線・半蔵門線・南北線)

基調講演

社会保障財源を 確保するためには どうするか!?

講師/金子 勝氏 (慶應義塾大学経済学部教授)

〈プロフィール〉1952年生まれ。『サンデーモーニング』(TBS)・『朝まで生テレビ!』(テレビ朝日)などテレビ番組に多数出演。著書に「日本病長期衰退のダイナミクス」(岩波新書)、「資本主義の克服「共有論」で社会を変える」(集英社新書)など多数。



各分野からの実態告発

医療/障害/介護/保育/生活保護/年金など

行動提起

【主催】「社会保障・社会福祉は国の責任で!」12.1院内集会実行委員会